

## 2022年度 独創的研究助成費 実績報告書

2023年3月31日

報告者	学科名	看護学科	職名	助教	氏名	藤堂由里
研究課題	コロナ禍における慢性疾患患者の地域での新たな看護ケアシステム構築の試み					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	藤堂由里	看護学科・助教		成人看護学	調査
	分担者	住吉和子	看護学科・教授		成人看護学	統括
研究実績の概要	<p><b>【目的】</b> 本研究の目的は、先の見えないコロナ禍において、慢性疾患患者が健康を維持するために必要な看護支援を専門看護師・認定看護師などの特定看護分野のスペシャリストと地域のクリニックなど看護のスペシャリスト不在の施設において、看護師間の連携を基盤にした看護ケアシステムの構築を試みることである。慢性疾患の中でも今回は患者数の多い糖尿病患者の看護に焦点を当てる。</p> <p><b>【方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>岡山県内の認定看護師および糖尿病療養指導士を対象に、施設を超えた患者教育の可能性についてと、研究の協力が可能か調査をする。</li> <li>糖尿病を専門とする看護師とその所属長を対象に、地域への出向の意思、条件、提供できるケア内容を確認する。</li> <li>内科を標榜しているが糖尿病看護を専門とする認定看護師及び療養指導士が所属していない医療施設の意志を対象に、糖尿病を専門とする看護師の出向の希望調査を行い、希望の条件などを抽出する。</li> </ol> <p><b>【結果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>総社市の医療機関および糖尿病を専門とする看護師への調査 総社市内には糖尿病専門医が1名のみで、糖尿病療養指導士や認定看護師等糖尿病看護を専門とする看護師は不在である。そこで内科を標榜している20の医療機関に他施設の看護師受け入れの希望について調査を行った結果8名が希望しており、希望する指導内容は、糖尿病について、食事療法、心理的な支援、インスリン注射の指導、フットケアなどであった。受け入れの条件として、指導場所や保険点数が挙げられた。糖尿病看護認定看護師を対象として、他施設への出向で患者教育を行う意思を確認したところ14名が積極的に参加したいと回答した。提供できる内容は、糖尿病について、食事療法、運動療法、低血糖、インスリン注射の方法、フットケアなどであった。出向の条件として、上司の許可、休日を使うのではなく仕事として参加できるか、保険などが挙げられた。</li> <li>看護職の出向条件の確認 出向に参加意思のある糖尿病看護認定看護師に具体的な出向の条件をインタビューし</li> </ol>					

	<p>た。条件として、看護部長の許可を得ること、休日を使用する場合は可能であるが、個  通費や謝金については今後の課題である。実際に施設へ出向する場合には交通時間もか  かるため、iパットなどWEBを使用した場合は、交通時間がかからないため、休日でも  ても教育を行えることが可能であった。</p> <p>3. 医療機関の看護師の受け入れ条件  総社市内クリニックの糖尿病専門医1名と専門看護師を有する病院の看護部に糖尿病を  専門とする看護師の出向について意見交換を行った。</p> <p>医療機関からは、「糖尿病について」6ヶ月くらいで学べる教育プログラムの希望とフ  ットケアの希望があった。特にフットケアは施設に出向して対面で行う必要があるため、  あらかじめ日時を決めて患者さんに告知を行い、集団で行うことも提案された。WEB を用  いての患者教育の方法について、WEB が使用できない高齢者の場合には、外来通院のとき  に WEB で面談を行うことになることやインスリン注射の導入も突然に必要となることか  ら、決まった曜日の対処では対処できないこともあるため今後の課題となった。</p> <p>倉敷市内の総合病院看護部に糖尿病看護認定看護師の出向条件として、看護師の意思、  勤務状況、出向で要望される内容を鑑みて、地域貢献できるように考えたいということだ  であった。</p> <p>今回は条件のすり合わせまででマッチングに至らなかったが、モデルケースとして1か  所からでも開始するためにiパットを購入し準備している。</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>総社市内クリニック糖尿病専門医と話し合いの結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病看護を専門とする看護師が出向して行う内容は、フットケア、指導とする。</li> <li>・フットケアは対面でマンツーマンで行う。</li> <li>・指導はweb か対面でマンツーマンでプログラムを作成し行う。</li> </ul> <p>糖尿病認定看護師が勤務する倉敷市内病院と話し合いの結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病認定看護師の意向を確認後、看護部長に協力を依頼する。</li> </ul>